

春の叙勲 瑞宝双光章を受章 貝瀬 誓司さん〔滝谷〕

貝瀬さんは、昭和36年1月に塩沢町職員として採用され、昭和62年4月からは産業観光課長、平成2年4月からは議会事務局長として、住民の声を大切にしながら町の発展と振興のために尽力されました。平成6年8月には塩沢町助役に選任され、平成15年8月までの9年間、職員の統率に力を注がれるとともに、町の発展や住民生活の向上と安定を第一に考えながら町政に尽力され、平成17年10月に塩沢町が南魚沼市に合併するための礎を築られました。

貝瀬さんは「この受章は、町を盛り上げようと一体となり高め合ってきた仲間たちのおかげです。とてもよい上司や同僚などに恵まれ、感謝しています」と語りました。



春の叙勲 瑞宝単光章を受章 石田 信子さん〔田中町〕

石田さんは、平成12年10月に調停委員に任命され、平成30年9月までの18年間、新潟家庭裁判所長岡支部の調停委員として家事、民事の調停に尽力されました。金銭問題や近隣間のもめごと、家庭内の問題などを抱える申立人の主張を受け止め、豊富な知識や経験により、当事者双方の話し合いの中で合意による解決に導きました。

石田さんは「思いがけない受章でしたが、光栄なことです。家族の理解のおかげで長く続けることができ、感謝しています。調停は、裁判官と2人以上の調停委員で構成される調停委員会で行われ、専門的な知識で問題解決のお手伝いができると思います。1人で悩まずに、解決の手段として調停を利用してほしいと思います」と語りました。



春の叙勲 瑞宝単光章を受章 貝瀬 慶司さん〔小松沢〕

貝瀬さんは、昭和48年4月に塩沢町消防団に入団し、36年間の長きにわたり火災をはじめとするさまざまな災害現場で活躍されました。平成12年4月からは分団長を、3町合併後の平成19年4月からは、南魚沼市消防団の分団長を務められました。災害などを未然に防ぐための活動や、有事の際に安全で確実な活動ができるよう規律訓練やポンプ走法などの指導を積極的に行い、後輩の育成や消防団活動の円滑化などにも力を注がれ、地元消防団の礎を築られました。

貝瀬さんは「この受章は、家族と一緒に活動した仲間、地域の人たちのおかげです。感謝しています」と語りました。



第32回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を受章 小林 隆治さん〔一村尾〕

小林さんは、昭和45年4月小出郷消防・衛生施設組合に消防士として採用され、多くの消防活動や救命救急活動に尽力されました。平成2年4月からは小出郷広域事務組合の救助隊長として、消防大学救助科での知識や経験を生かして、急速に発展する救急救命技術への対応に力を注がれました。平成16年11月からは魚沼市消防本部消防総務課長補佐として、消防本部の取りまとめや企画運営、消防団との連携強化などによる地域の防災意識の向上や啓発活動、平成21年4月からは魚沼市総務課危機管理室長として、防災部門の強化に尽力されました。

小林さんは「先輩や上司、同僚などのおかげで激動の時代を乗り越え、ここまでやってくることができました。感謝しています」と語りました。

